2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名	株式会社　日阪製作所		上場取引所　東
コード番号	6247	ＵＲＬ　https://www.hisaka.co.jp	
代表者	（役職名）代表取締役社長　社長執行役員	（氏名）宇佐美　俊哉	
問合せ先責任者	（役職名）取締役上席執行役員　管理、経営戦略、IR担当	（氏名）波多野　浩史	ＴＥＬ　06-6363-0015
半期報告書提出予定日	2026年11月13日	配当支払開始予定日	2026年12月４日

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	20,564	△6.1	1,609	△11.7	1,913	△0.8	1,352	△4.7
2026年３月期中間期	21,893	21.6	1,822	61.4	1,929	42.7	1,419	36.9

（注）包括利益　2027年３月期中間期　2,606百万円（14.3%）　2026年３月期中間期　2,281百万円（290.3%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	51.41	―
2026年３月期中間期	53.17	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年３月期中間期	84,458	65,219	76.9	2,466.98
2026年３月期	83,082	63,280	75.9	2,397.55

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　64,964百万円　2026年３月期　63,041百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	27.00	―	28.00	55.00
2027年３月期	―	27.00			
2027年３月期（予想）			―	28.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△2.0	3,300	△0.1	3,600	△0.6	3,500	1.5	132.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正につきましては、本日（2026年11月13日）公表の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上見込み及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）　、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	28,732,800株	2026年３月期	28,732,800株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	2,399,227株	2026年３月期	2,438,867株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	26,308,916株	2026年３月期中間期	26,690,860株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、〔添付資料〕３ページ「１．当中間決算に関する定性的情報」の「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足資料は、2026年11月13日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10
３．補足情報（ＩＲ情報） …… 12
（１）セグメント別売上高 …… 12
（２）セグメント別受注高及び受注残高 …… 12

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における世界経済は、地政学的リスクの継続や金利・為替の変動により、不安定な状況が継続しました。国内経済は、個人消費には持ち直しの動きがみられたほか、製造業の生産活動は底堅く推移しました。また、脱炭素社会の実現に向けた設備投資や、生成AIの普及に伴う電力需要の拡大、半導体関連投資など、当社グループの事業領域において新たな成長機会が広がっています。

このような環境のもと、当社グループは、経営ビジョン「気候変動への挑戦」の実現に向け、中期経営計画「Challenge2028」に掲げる成長戦略を推進してまいりました。特に、脱炭素・省エネルギー関連市場への展開、データセンターなどの成長分野における受注拡大、メンテナンスサービスの強化に注力するとともに、製品・サービスの高付加価値化や収益性の改善に取り組みました。

これらの取り組みにより、当中間連結会計期間の受注高は、熱交換器事業において海外船舶向けやCO_2回収プラント関連の需要を着実に取り込んだことなどから、前年同期比10.5%増の22,386百万円となりました。

一方、売上高は、期初受注残高が前年同期に比べ減少していたことに加え、一部海外案件の出荷・検収時期が下期へ移行したことなどにより、前年同期比6.1%減の20,564百万円となりました。

利益面では、熱交換器事業及びバルブ事業において利益率の改善が見られたものの、売上高の減少要因に加え、人件費・減価償却費などの固定費の増加により、営業利益は前年同期比11.7%減の1,609百万円となりました。経常利益は、同0.8%減の1,913百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、同4.7%減の1,352百万円となりました。

当社グループは、引き続き成長市場における事業機会を捉え、受注残高の積み上げを図るとともに、メンテナンスサービスの拡充や高付加価値製品の販売強化を推進してまいります。あわせて、収益性と資本効率を重視した事業運営を通じて、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。

セグメント別の経営成績は次のとおりです。

（単位：百万円／（%）前年同期比増減率）

	熱交換器事業	プロセスエンジニアリング事業	バルブ事業	その他事業
受注高	10,588（　31.9%）	8,977（ △6.5%）	2,806（　8.9%）	14（△69.9%）
売上高	8,457（ △2.7%）	9,590（ △9.7%）	2,502（ △1.3%）	14（△69.9%）
セグメント損益	880（　51.7%）	553（△53.7%）	246（　66.7%）	△0（　　※）

※前年同期は36百万円のセグメント利益

(熱交換器事業)

受注高は、データセンターの電力需要拡大を背景とした脱炭素化を目指した発電所用CO_2回収プラント向けや、新造船需要の増加に伴う船舶向け熱交換器が伸長しました。また、半導体製造設備向け熱交換器やメンテナンスサービスも好調に推移し、前年同期を大きく上回りました。

一方、売上高は、半導体製造装置向け熱交換器の販売が伸長したほか、国内外のメンテナンスサービスが好調に推移したものの、前年同期の海外プラント向け大口案件の反動や、一部海外案件の出荷時期が下期へ移行したことなどにより、前年同期を下回りました。

セグメント利益は、海外におけるメンテナンスサービスが増加したほか、国内においてもセールスミックスの改善等により増益となりました。

(プロセスエンジニアリング事業)

受注高は、食品メーカーの生産性向上や省エネ・省人化を目的とした設備投資需要を背景に、レトルト殺菌装置やプラント関連の大口案件を獲得しました。一方、医薬機器及び染色仕上機器では、大口案件の減少に加え、正式受注が下期に延びる案件などもあり、前年同期を下回りました。

売上高は、レトルト殺菌装置や染色仕上機器の複数の大口案件を計上したものの、一部海外案件の検収時期が下期へ移行したことや、前年同期に計上した医薬機器の大型プラント案件の影響により、減収となりました。

セグメント利益は、売上高の減少に加え、前年同期に計上した好採算案件の反動減があったことにより、減益となりました。

(バルブ事業)

受注高は、当社の主力市場である一般化学分野の設備投資が低調に推移する一方、産業ガスや環境水処理分野、ファインケミカル分野への市場展開を強化したことにより好調に推移しました。

一方、売上高は、ファインケミカルや環境水処理など新たな市場分野への展開が進んだものの、一般化学向けの需要低迷を補うには至らず、前年同期をわずかに下回りました。

セグメント利益では、高付加価値製品の販売拡大によるセールスミックスの改善や価格改定効果などにより利益率が向上し、大幅な増益となりました。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末の資産は84,458百万円となり、前連結会計年度末83,082百万円から1,375百万円の増加となりました。

これは、現金及び預金1,764百万円等の減少があったものの、投資有価証券2,052百万円や棚卸資産894百万円等の増加が上回ったことによります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債は19,238百万円となり、前連結会計年度末19,802百万円から564百万円の減少となりました。

これは、契約負債795百万円等の増加があったものの、社債666百万円や仕入債務411百万円等の減少が上回ったことによります。

(純資産)

当中間連結会計期間末の純資産は65,219百万円となり、前連結会計年度末63,280百万円から1,939百万円の増加となりました。

これは、配当金736百万円の支払等による減少があったものの、その他有価証券評価差額金1,409百万円の増加や親会社株主に帰属する中間純利益1,352百万円の計上等が上回ったことによります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、本日（2026年11月13日）公表の「投資有価証券売却益（特別利益）の計上見込み及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,009	10,244
受取手形	141	31
売掛金	7,639	8,144
電子記録債権	3,930	3,713
商品及び製品	3,588	3,629
仕掛品	5,940	6,819
原材料及び貯蔵品	2,113	2,088
その他	483	642
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	35,832	35,298
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	14,747	14,299
機械及び装置（純額）	2,455	3,157
土地	6,571	6,547
その他（純額）	2,507	1,966
有形固定資産合計	26,282	25,971
無形固定資産		
ソフトウエア	261	243
のれん	12	1
その他	1,429	1,586
無形固定資産合計	1,704	1,831
投資その他の資産		
投資有価証券	15,239	17,292
退職給付に係る資産	3,071	3,153
その他	957	916
貸倒引当金	△4	△5
投資その他の資産合計	19,264	21,357
固定資産合計	47,250	49,159
資産合計	83,082	84,458

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,201	2,971
電子記録債務	569	387
１年内償還予定の社債	1,332	1,332
１年内返済予定の長期借入金	333	333
未払法人税等	601	388
契約負債	3,059	3,855
製品保証引当金	121	109
受注損失引当金	356	342
賞与引当金	874	837
環境対策引当金	―	49
その他	1,914	1,556
流動負債合計	12,363	12,164
固定負債		
社債	2,668	2,002
長期借入金	666	500
繰延税金負債	3,491	4,161
環境対策引当金	326	133
退職給付に係る負債	230	224
その他	55	52
固定負債合計	7,438	7,073
負債合計	19,802	19,238
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150	4,150
資本剰余金	5,224	5,252
利益剰余金	46,454	47,071
自己株式	△2,627	△2,585
株主資本合計	53,201	53,888
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,854	9,263
繰延ヘッジ損益	△29	△6
為替換算調整勘定	1,357	1,298
退職給付に係る調整累計額	657	520
その他の包括利益累計額合計	9,839	11,076
非支配株主持分	239	255
純資産合計	63,280	65,219
負債純資産合計	83,082	84,458

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	21,893	20,564
売上原価	16,502	15,374
売上総利益	5,390	5,190
販売費及び一般管理費	3,567	3,580
営業利益	1,822	1,609
営業外収益		
受取利息	10	25
受取配当金	226	270
持分法による投資利益	6	0
為替差益	－	13
その他	19	21
営業外収益合計	263	330
営業外費用		
支払利息	9	8
手形売却損	0	0
為替差損	98	－
休止固定資産維持費用	15	16
自己株式取得費用	31	－
その他	2	1
営業外費用合計	157	26
経常利益	1,929	1,913
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	875	－
特別利益合計	876	1
特別損失		
固定資産除売却損	0	11
工場再構築費用	353	－
環境対策費用	88	－
環境対策引当金繰入額	349	－
災害関連費用	－	12
特別損失合計	790	23
税金等調整前中間純利益	2,015	1,892
法人税、住民税及び事業税	682	423
法人税等調整額	△71	99
法人税等合計	611	523
中間純利益	1,403	1,369
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△15	16
親会社株主に帰属する中間純利益	1,419	1,352

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	1,403	1,369
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	872	1,410
繰延ヘッジ損益	△8	22
為替換算調整勘定	112	△62
退職給付に係る調整額	△94	△136
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	3
その他の包括利益合計	878	1,237
中間包括利益	2,281	2,606
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,298	2,589
非支配株主に係る中間包括利益	△16	17

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,015	1,892
減価償却費	837	925
のれん償却額	11	11
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	3
製品保証引当金の増減額（△は減少）	51	△11
受注損失引当金の増減額（△は減少）	67	△13
賞与引当金の増減額（△は減少）	△14	△37
退職給付に係る資産の増減額（△は増加）	△210	△280
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△12	△4
環境対策引当金の増減額（△は減少）	349	－
受取利息及び受取配当金	△237	△295
支払利息	9	8
為替差損益（△は益）	55	△17
持分法による投資損益（△は益）	△6	△0
投資有価証券売却損益（△は益）	△875	－
固定資産除売却損益（△は益）	△0	9
工場再構築費用	353	－
環境対策費用	88	－
災害関連費用	－	12
売上債権の増減額（△は増加）	△187	△185
棚卸資産の増減額（△は増加）	624	△828
仕入債務の増減額（△は減少）	△66	△439
契約負債の増減額（△は減少）	△1,303	738
未払消費税等の増減額（△は減少）	473	△199
未収入金の増減額（△は増加）	3	9
その他	△73	△55
小計	1,948	1,241
利息及び配当金の受取額	237	294
利息の支払額	△9	△8
工場再構築費用の支払額	△353	－
環境対策費用の支払額	△88	△143
災害関連費用の支払額	－	△12
法人税等の支払額	△1,215	△620
営業活動によるキャッシュ・フロー	520	750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△65	－
定期預金の払戻による収入	65	85
長期預金の預入による支出	△50	－
固定資産の取得による支出	△1,162	△967
固定資産の売却による収入	0	2
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	1,000	－
短期貸付金の増減額（△は増加）	△76	0
保険積立金の積立による支出	△30	△3
保険積立金の解約による収入	33	13
その他	△17	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△305	△856

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	－	△666
長期借入金の返済による支出	－	△166
リース債務の返済による支出	△6	△8
自己株式の取得による支出	△1,344	△0
配当金の支払額	△653	△733
非支配株主への配当金の支払額	△30	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,035	△1,575
現金及び現金同等物に係る換算差額	△11	1
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,831	△1,679
現金及び現金同等物の期首残高	12,824	11,918
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,992	10,239

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	熱交換器	プロセスエンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,694	10,615	2,535	21,844	48	21,893
セグメント利益	580	1,194	147	1,922	36	1,959

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電事業等であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,922
「その他」の区分の利益	36
のれんの償却額	△11
全社費用（注）	△111
棚卸資産の調整額	△9
その他の調整額	△4
中間連結損益計算書の営業利益	1,822

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）	合計
	熱交換器	プロセスエンジニアリング	バルブ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	8,457	9,590	2,502	20,550	14	20,564
セグメント利益又は損失（△）	880	553	246	1,680	△0	1,679

（注）「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、発電事業であります。

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	1,680
「その他」の区分の損失（△）	△0
のれんの償却額	△11
全社費用（注）	△82
棚卸資産の調整額	△4
その他の調整額	28
中間連結損益計算書の営業利益	1,609

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

３．補足情報（ＩＲ情報）

（１）セグメント別売上高

（単位：百万円）

項　目	前四半期 2025年4月～2025年9月		当四半期 2026年4月～2026年9月		増減金額	前年同期比	（参考）前連結会計年度 2025年4月～2026年3月	
	金　額	構成比	金　額	構成比			金　額	構成比
熱交換器	(2,999)	(13.7 %)	(2,528)	(12.3 %)	(△471)	(84.3 %)	(5,715)	(12.7 %)
	8,694	39.7	8,457	41.1	△236	97.3	17,229	38.4
プロセスエンジニアリング	(704)	(3.2)	(1,579)	(7.7)	(875)	(224.2)	(3,143)	(7.0)
	10,615	48.5	9,590	46.6	△1,024	90.3	22,405	49.9
バルブ	(342)	(1.6)	(220)	(1.0)	(△121)	(64.4)	(652)	(1.5)
	2,535	11.6	2,502	12.2	△33	98.7	5,183	11.5
その他	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
	48	0.2	14	0.1	△33	30.1	72	0.2
合計	(4,046)	(18.5)	(4,328)	(21.0)	(281)	(107.0)	(9,510)	(21.2)
	21,893	100.0	20,564	100.0	△1,328	93.9	44,890	100.0

注.（ ）は海外売上高で内書であります。

（２）セグメント別受注高及び受注残高

（単位：百万円）

項　目		前四半期 2025年4月～2025年9月		当四半期 2026年4月～2026年9月		増減金額	前年同期比	（参考）前連結会計年度 2025年4月～2026年3月	
		金　額	構成比	金　額	構成比			金　額	構成比
受注高	熱交換器	(2,326)	(11.5 %)	(3,985)	(17.8 %)	(1,659)	(171.3 %)	(5,397)	(12.7 %)
		8,029	39.6	10,588	47.3	2,558	131.9	17,193	40.4
	プロセスエンジニアリング	(2,130)	(10.5)	(2,335)	(10.4)	(204)	(109.6)	(3,765)	(8.8)
		9,603	47.4	8,977	40.1	△ 626	93.5	20,000	46.9
	バルブ	(222)	(1.1)	(219)	(1.0)	(△ 3)	(98.4)	(477)	(1.1)
		2,577	12.7	2,806	12.5	229	108.9	5,324	12.5
	その他	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
		48	0.3	14	0.1	△ 33	30.1	72	0.2
	合計	(4,680)	(23.1)	(6,540)	(29.2)	(1,859)	(139.7)	(9,640)	(22.6)
		20,259	100.0	22,386	100.0	2,127	110.5	42,591	100.0
受注残高	熱交換器	(3,391)	(13.2 %)	(5,204)	(19.4 %)	(1,813)	(153.5 %)	(3,747)	(15.0 %)
		6,929	26.9	9,689	36.1	2,759	139.8	7,558	30.2
	プロセスエンジニアリング	(3,103)	(12.1)	(3,055)	(11.4)	(△ 48)	(98.4)	(2,299)	(9.2)
		17,135	66.7	15,129	56.3	△ 2,006	88.3	15,742	62.9
	バルブ	(193)	(0.7)	(136)	(0.5)	(△ 56)	(70.6)	(137)	(0.5)
		1,636	6.4	2,039	7.6	403	124.7	1,735	6.9
	その他	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)	(－)
		－	－	－	－	－	－	－	－
	合計	(6,687)	(26.0)	(8,396)	(31.3)	(1,708)	(125.5)	(6,184)	(24.7)
		25,701	100.0	26,858	100.0	1,156	104.5	25,036	100.0

注.（ ）は海外受注高及び海外受注残高で内書であります。